

NIHON CHEMTREX CO.,LTD

〒174-0043 13-39-1 SAKASHITA ITABASHI-KU TOKYO JAPAN

TEL:(03)3430-1139

アミン系物質対応消臭剤

エアクレンス FC-AM08

エアクレンス FC-AM25

【特長】

エアクレンスFC-AM08及びAM25は、アミン化合物・オキソ酸混合物を主剤とし、ヒドロキシ酸、有機酸塩、ベタイン化合物等を配合した水溶液で、アミン系物質を対象とした消臭剤です。

- 1) 本消臭剤は低コスト対応の消臭剤で、アミン類に対して優れた消臭効果をもたらします。
- 2) 比較的耐熱性の高い成分で構成されておりますので、通常レベルの加工条件では性能を維持しております。※耐熱温度：190～200℃
- 3) 安全性の高い成分で構成されております。

【性状】

	FC-AM08	FC-AM25
成分	アミン化合物・オキソ酸混合物	
	ヒドロキシ酸	
	有機酸塩	
	ベタイン化合物	
	高分子重合体	
	PEG(ポリエチレングリコール)	
	界面活性剤	
	浸透剤	
	精製水	
外観	淡黄色透明液体	
臭い	微臭	
比重(25℃)	1.045±0.05	1.063±0.05
pH(25℃)	2.4±0.05	2.4±0.05
有効成分	11.7±0.5%	15.8±0.5%

【用途】 AM08 : 本剤はスプレー塗布用途がメインである。尚、状況に応じて樹脂に添加することもできる。

AM25 : 本剤を樹脂(ポリオール等)や接着剤、表面コート剤等に添加する。

※本剤をポリオールに添加しても液状的には問題ありません。(3%添加時での評価)

【消臭性能】

:対象物質「アンモニア及びトリメチルアミン」に対する消臭性能

1) 試験体の作製

各消臭剤の原液を25 c m²の口紙に50 μ l 塗布した後、120℃の熱風で2分間乾燥し試験体とする。

2) 試験方法

1Lのガラス容器に試験体を入れた後、所定濃度の対象物質水溶液を所定量滴下した後直ちに密閉し、1時間経過後の対象物質残存臭ガス濃度を検知管にて測定する。

3) 試験結果

試験体	対象物質残存ガス濃度(ppm)	
	アンモニア	トリメチルアミン
空ブランク	200	200
FC-AM08	0	0

FC-AM25	0	0
---------	---	---

【耐フオギング性】

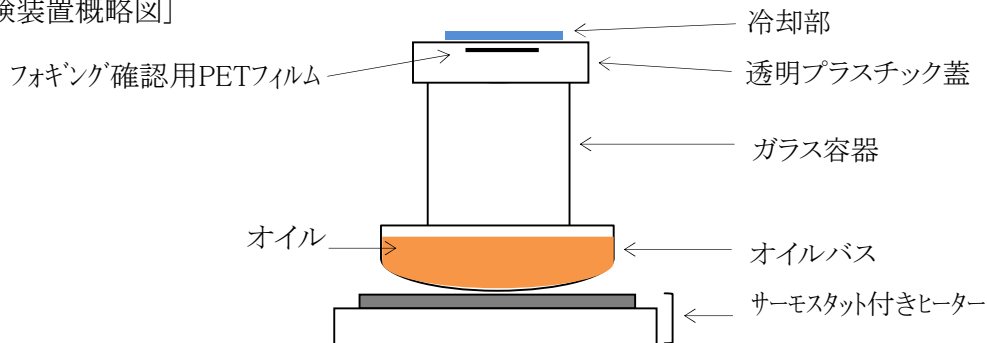
1) 試験体の作製

消臭剤の原液を5cm×6cmの口紙に90 μ 1塗布した後、120℃の熱風で2分間乾燥させたものを試験体とする。

2) 簡易試験方法

- ・100℃に加熱したオイルバスに、高さ170mm、上部の開口部(上口部)が直径70mmのガラス容器を下部がオイルバスのオイルに35mm程度沈むように設置する。
- ・次に透明なプラスチックの円形蓋の内側に、45mm×45mmの透明なポリエステルフィルム(50 μ)を張り付けた後ガラス容器の上口部分に設置する。
- ・前記円形蓋の上部には「冷却部」として厚手の不織布をのせ、さらにその上には蓄冷剤を載せてプラスチックの円形蓋上部が約10℃に保持されるよう冷却する。
- ・オイルの温度を100℃に、冷却部を10℃に保ちながら3時間後の「フオギング確認用PETフィルム」の曇り状態を確認する。

[試験装置概略図]



3) 試験結果

試験体	判定	判定基準
FC-AM08	○	○: 付着物が無く透明 △: 付着物で曇りがややある ×: 付着物が多く曇りで先が見えない
FC-AM25	○	

【耐腐食性】

1) 試験方法

- ① 2枚重ねのガーゼ(6cm×6cm)に薬剤を2g染み込ませる。
- ② 薬剤を染み込ませたガーゼの上に金属片を載せ、更にその金属片の上から薬剤を振りかける。
- ③ 常温常湿(20~25℃、55~65%)にて放置し、金属片の外観を観察する。

※金属片は手に入りにくいいため、ホームセンターで各種金属の釘及び太めの針金を入手。

金属片:鉄、SUS(ステンレス)、アルミ、黄銅(真鍮)、銅

2) 試験結果

薬剤	経過日数	金属片				
		鉄	SUS	アルミ	黄銅	銅
水	1日	×	○	○	○	○△
	7日	×	○	○	○△	△
FC-AM08	1日	○△	○	○	○△	○
	7日	△	○	○	○△	○
FC-AM25	1日	○△	○	○	○△	○
	7日	△	○	○	○△	○
判定基準	○: 腐食していない △: やや腐食している ×: 腐食している					